

教科・科目		対象学年	単位数	教科書	使用教材
家庭・生活産業情報		1	2	生活産業情報 (実教出版)	全商ビジネス文書実務検定模擬試験 問題集3級
目標	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	生活産業の各分野における情報の意義や役割、 情報及び情報技術を活用する方法について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。		生活産業に関する課題を情報及び情報技術を活用して発見し、生活産業を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。		生活産業における情報及び情報技術の活用や専門性の向上を目指して自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
評価	・プリントや小テスト、定期考査の結果と課題から「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。 ・授業や課題の取り組み状況から「主体的に学習に取り組む態度」評価する。				
学期	学習内容（単元）			到達目標	
1	○オリエンテーション 第1章 情報化の進展と生活産業 第1節 情報化の進展と社会 第2章情報モラルとセキュリティ 1節 情報モラルとマナー 2節 情報通信ネットワークのしくみとセキュリティ管理			・情報処理室やPC 利用上の注意事項などを理解する。 ・情報化の進展に伴った生活や産業における変化とその問題点を知り、解決に向けて考える。 ・ネットワーク社会のモラルとマナーについて、具体的な事例から理解する。 ・情報の取り扱い方、セキュリティ管理を理解し、日常レベルで個々人が実践すべきセキュリティ管理について考える。	
2	第3章 コンピュータとプログラミング 1節 コンピュータの基本構成 第5章 各種アプリケーションの基本操作 1節 文書作成ソフトの利用（1）			・情報機器の基本構成（ハード・ソフト）と、それぞれの機能と動作を理解する。 ・文書作成ソフトの概要を理解し、操作方法を習得する。 ・例題に沿って、指定された書式設定をしたり正確に文字入力をしたりして、ビジネス文書を作成することができる。	
3	2節 表計算ソフトの利用（1）			・表計算ソフトの概要を理解し、操作方法を習得する。 ・基本的な関数を使って表を作ることができる。	

教科・科目		対象学年	単位数	教科書	使用教材
家庭・生活産業情報		2	2	生活産業情報 (実教出版)	全商ビジネス文書実務検定模擬試験 問題集2級 全商情報処理検定模擬試験問題集3級
目標	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	生活産業の各分野における情報の意義や役割、情報及び情報技術を活用する方法について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。		生活産業に関する課題を情報及び情報技術を活用して発見し、生活産業を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。		生活産業における情報及び情報技術の活用や専門性の向上を目指して自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
評価	・プリントや小テスト、定期考査の結果と課題から「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。 ・授業や課題の取り組み状況から「主体的に学習に取り組む態度」評価する。				
学期	学習内容（単元）			到達目標	
1	第5章 各種アプリケーションの基本操作 1節 文書作成ソフトの利用（2）			・ビジネス文書の基本書式を理解し、必要に応じて校正記号や図、表を含む文書を指示に従って体裁よく作成することができる。	
2	第3章 コンピュータとプログラミング 3節 アルゴリズムとフローチャート 第5章 各種アプリケーションの基本操作 2節 表計算ソフトの利用（2）			・プログラミングに関する基本的な知識を学び、簡単なアルゴリズムで表現した処理手順を実行することで、自動的に処理ができることを理解する。 ・例題に沿って関数を使ったり適切な表やグラフを作成したりして、指示された文書を作成することができる。	
3	5節 画像処理ソフトの利用			・画像処理ソフトの概要を理解し、画像の描画、編集、加工ができる。	

教科・科目		対象学年	単位数	教科書	使用教材
家庭・生活産業情報		3	2	生活産業情報 (実教出版)	全商ビジネス文書実務検定模擬試験 問題集 1 級
目標	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	生活産業の各分野における情報の意義や役割、 情報及び情報技術を活用する方法について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。		生活産業に関する課題を情報及び情報技術を活用して発見し、生活産業を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。		生活産業における情報及び情報技術の活用や専門性の向上を目指して自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
評価	・プリントや小テスト、定期考査の結果と課題から「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。 ・授業や課題の取り組み状況から「主体的に学習に取り組む態度」評価する。				
学期	学習内容（単元）			到達目標	
1	第5章 各種アプリケーションの基本操作 1節 文書作成ソフトの利用（3）			・ビジネス文書の基本書式を理解し、必要に応じて校正記号や図、表、テキストファイルを含む文書を指示に従って体裁よく作成することができる。	
2	3節 プログラミングソフトの利用 4節 プレゼンテーションソフトの利用			・表計算マクロ言語で使用するオブジェクトやプロパティ、メソッドなどの用語の意味を理解する。 ・プログラミングソフトの操作方法を習得し、コードを実行することで、必要な処理がされることを理解する。 ・プレゼンテーションソフトの概要を理解し、操作方法を習得する。 ・プレゼンテーションにおける注意点を理解し、テーマに沿ったスライドを作成して、プレゼンテーションができる。	
3	第6章 生活産業に関連した情報デザイン			・衣・食・住生活、ヒューマンサービス、消費生活各分野においての情報技術がどのように利用されているかを具体例とともに理解する。	